



2021年9月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒320-0041
宇都宮市松原 2-7-42
Tel 028-624-2546
Fax 028-624-2489
www.tochigiymca.org
発行人/塩澤 達俊
編集人/公益財団法人とちぎYMCA

YMCA News



『学生最後の夏に見えたもの』

とちぎYMCA ユースボランティアリーダー
岩月 彩華 (ちゅん)

表紙の写真から:2021とちぎYMCAサマープログラム
「とちぎYMCAサッカーフェスティバル2021」にて。
喜びがみんなに連鎖しています。

『童心に帰ろう』を自分自身のテーマにしていた学生最後のサマープログラムが幕を閉じました。

わたしがこのテーマを掲げたのには理由があります。YMCAでたくさんの経験を積む中で、初めは引込み思案だった私ですが、今ではリーダー会も積極的に参加し、大勢の人前で話す機会も多くなってきました。しかし、こうして成長し視野も広がる中で、活動中に考えすぎてしまい楽しんでいない自分がいました。そこで、まずはリーダーが楽しむ姿を見せてこそ子どもたちから楽しさを引き出せるのではと気づき、『童心に帰ろう』と思ったのです。

大人になった今童心に帰ることは難しいことでした。しかし活動中は子どもたち一人一人をよく見て、同じように楽しんでみることや自分が子どもだった頃の気持ちを思い出す意識をしていました。すると、自然探索で「大きい石が滑り台になった！楽しい！」と自分たちで発見した自然を遊具にして楽しんでいる姿や、サッカーフェスティバルで「僕シュート入れたよ！」と飛び跳ね全身で喜びを表現する子どもたちの姿など、子どもたち一人一人の純粋な心が見えてきました。そして、そのすぐ隣で同じように感動したり飛び跳ねながら夏を楽しむ私もいました。この夏、私は子どもたちから楽しみ方を教えて貰った気がします。

また、こうして一人一人に視点を合わせることで楽しさだけでなく不安な気持ちにも気が付くことができました。短期水泳での水への恐怖心や、

活動初日にメンバーと初めて顔を合わせる不安など子どもたちには多くの不安があったのです。そんな時にも子どもたちの視点で考えたら不安が安心に変わるのかを考えられたことで沢山の笑顔に出会う事ができたと思います。

今回のサマープログラムは今までのプログラムの中で一番楽しめたプログラムでした。そして、私が笑顔で楽しんでいたことは周囲にも伝わり子どもたちもとても楽しそうに感じていました。当たり前になりすぎて忘れがちなことですが自分が楽しむこと、そして笑顔でいることの大切さが分かったプログラムでした。

一人一人の子どもたちに寄り添いながら一緒に楽しむことができるこの関わりはリーダーだからこそ出来ることだと思います。私は将来保育者を目指していますが、今しか出来ないリーダーとしての関わりを残りのYMCAでの時間で楽しみたいと思います。そして、YMCAで学んだ子どもたちへの寄り添い方はこの先保育者となった時の軸にしていきたいです。

白鷗大学4年
岩月 彩華(ちゅんリーダー)



とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2021年度とちぎYMCA年間聖句

(創世記 第1章 第3節)

「神は言われた。「光あれ。」 こうして、光があった。」



認定こども園 さくらんぼ幼稚園

「 デイキャンプ 」

年長組みんなが待ちに待ったデイキャンプ!梅雨明けの蝉の声に負けないくらい、子どもたちの「出発進行!」の声が園庭に響き渡りました。古賀志山のハイキングでは木漏れ日の中を歩き進み、頑張っ

て登った先の展望台からの景色はとってもきれいに見えました。スタンプラリーではグループのみんなと力を合わせて5つのゲームに挑戦! 緑の原っぱの中を子どもたちが手をつないで走る姿、ゴールした時の達成感に満ちた表情はとても輝かしかったです。食堂にてハンバーグカレーをいただき、お腹も心も満たされました。たくさん遊んで、夜はぐっすり眠れたかな?幼稚園での良い夏の思い出となりました。



小宮山 彩香

ようとう保育園

「 つばめ組(2歳児) 夏の戸外あそび 」

朝のおやつ後の片付けが終わると自分で帽子や靴をはき、暑さを物ともせず勢よく戸外へ飛び出す元気いっぱいのつばめ組です。

見立てあそびが上手になってきている子や、色に興味が出てきている子が多いため、色水あそびや泡あそびを準備しました。タライや机などを保育士が用意していると「なにしてるの?」とこれから始まることに興味津々です。泡を作り出すと真似して手伝ってくれる子もいました。腕に塗ってみたり、コップに入れてアイスクリームに見立てたりと、個々で泡の感触を楽しんでいました。

また、色水あそびでは、普段手を洗う際にも使っているポンプ式のボトルの中に色水を作り、自分たちで入れてあそべるようにしました。自分で気になる色を選び、コップの中に入れて「レモンジュースみたい!」「ぶどうジュースです!」と見立てながら保育士や友だちへ見せたり、あげたりと、やり取りを楽しんでいました。さらには、他の色と混ぜると色が変わることを発見し「まぜてみてー」と友だちに教える姿もありました。

あそびのなかで自分の気づきや思いを、友だちや保育士と共有する喜びを味わえるよう、子どもたち一人ひとりの気持ちを丁寧に受け止めながら、人間関係を育めるようなあそびを工夫していきたいと思います。

阿久津 真里



宇都宮市子どもの家～戸祭子どもの家

「 夏休みの思い出 」

2021年4月よりとちぎYMCAでは宇都宮市内14拠点の子どもの家(学童保育)が宇都宮市の指定管理者として運営が始まりました。今回は戸祭子どもの家(とちのみ会)の様子をお伝えいたします。

夏休みは104名の子どもたちが子どもの家に通いました。コロナ禍の中、1年生から5年生まで異年齢の子どもたちがプール活動、学習、遊び、行事などをみんなで体験し、心も身体も大きく成長しました。

保護者の方が作ってくれたお弁当に感謝の気持ちをカードにして渡しました。『毎日おいしいお弁当をありがとう!これからも頑張るからね』等、子どもたちが書いたメッセージに指導員一同感激しました。

主任指導員 半田 茂美



特別養護老人ホームマイホームきよはら

「 オリンピック 」

暑い日が続く日々ですが、今年は東京オリンピックが開催されマイホームきよはらでも毎日利用者様が白熱した試合をご覧になり、応援されていました。開会式の様子をテレビで鑑賞され「前の東京オリンピックの時は家にテレビが無くて観られなかったけど初めて見るのが出来て嬉しい。」「ここまで生きてきているんな国の人を見れるなと思わなかった。」と楽しそうにテレビをご覧になられ、日本がメダルを取った時には「いろいろな人と競ってメダルを取るなんてすごいね。」ととてもうれしそうにされていました。またオリンピック終了後夏の甲子園が始まり、ご利用者様からは「今年の夏は色々なスポーツが見られるね」と笑顔で話されており野球がお好きな方はテレビの前で真剣にご覧になられておりました。マイホームきよはらでは納涼祭が8月20日に行われます。なかなか施設の外に出ることが難しいご時世ではありますが、ご利用者様が季節を感じられるようお祭りをイメージするかき氷やヨーヨー等を用意しました。夜には花火を行いより夏を感じ、楽しんで頂きました。新型コロナウイルスの影響で外出などが難しい中でも施設内で楽しんで頂けるイベント等を開催し、より楽しい日々を送っていただけるようケアを行っています。



宇都宮市青少年活動センタートライ東

「 あそぼ祭り開催しました! 」

2021年7月17日(土)毎年恒例のあそぼまつりを開催しました! 昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の為中止となりましたが、今年は、感染症対策を行った上で無事に開催する事ができました。I部・II部に分けて開催をし、合わせて207名の方々に来場頂きました。ゲームコーナー、テイクアウトブース、お囃子演奏、ブレッキー交流会、キャラクター交流会(みやどん・ミヤリー・とちまる・育美ちゃん)、工作コーナーなどを行いました。



様々な所でお祭りが中止となっている中、無事に開催する事ができ、たくさんの子どもの笑顔を見る事ができとても嬉しく思います。本イベントを開催するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策に皆様のご理解・ご協力頂きありがとうございます。

http://www.tochigiymca.org/try_east/wp/archives/5687

「 トライ∞県大会優勝!!! 」

7/25(日)に日環アリーナで行われた、カワチカップ第30回全日本ドッジボール選手権栃木県大会にD1チームとジュニアチームが出場しました。

D1チームにとっては、夏の全国大会の予選会も兼ねています。結果は、D1チームは予選リーグ1位、決勝トーナメント優勝、ジュニアチームは予選リーグ2位、決勝トーナメント優勝し、D1チーム、ジュニアチームのダブル優勝の成績を残すことができました。D1チームは、アダストリアみとアリーナで開催される『第30回全日本ドッジボール選手権全国大会』に栃木県代表としての出場権を獲得することができました。トライ∞チーム創設10年目に念願の全国大会出場です。子どもたち、良く頑張りました。また、ここまで支えてくださいました保護者の皆様、ご協力、応援してくださっている関係者の方々に本当に感謝いたします。また、コロナ禍でありながら、対策を講じながら無事に大会を支えてくださった関係者の皆様に御礼申し上げます。

トライ∞ ドッジボール担当 菅井 宏益

★全国大会に当たって意気込み★

僕たちのチームは、攻撃と守備のバランスが良いチームです。一人一人が最後まで絶対にあきらめないという気持ちが強く、みんなの気持ちが1つになったことで県大会で優勝できました。念願の全国大会出場が決まった時は本当に嬉しかったです。

目標は上位ですが、チームのみんな満足以上の試合を1試合でも多くしたいです。

トライ∞ キャプテン 富澤 春陽(6年生)



社会福祉法人理事長、就任・退任のご報告

この度、上野順一郎氏が社会福祉法人理事長を退任し、鈴木伊知郎氏が就任しました。上野前理事長は2002年から社会福祉法人理事長を勤め、約20年に渡り社会福祉法人をお導きくださいました。

以下、鈴木新理事長、上野前理事長のコメントになります。

鈴木 伊知郎理事長 (写真：右)

永年勤められた上野前理事長から当職を引き継ぎました。11年前に宇都宮東ワイズメンズクラブのメンバーになってから、福祉会の各施設と宇都宮東YMCAを毎年バザーやサンタクロースや例会などで各施設を訪問し支えてきたので、YMCAのことを知っているつもりでしたが、まだまだ判らないことが多いです。就任したからにはYMCAをより知り、「みつかる」「つながる」「よくなっていく」を実行してまいります。

第1テサロニケの手紙5章16～18「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」

上野 順一郎前理事長 (写真：左)

若い頃の話である。私は「年寄り嫌いだから高齢者施設には関わりたくない」と言っていた。子供が卒園した幼稚園は十河さんが理事長で私は既に副理事長だった。増山社福理事長のお仕事の「フジスタッフ」が忙しかったという理由で次の理事長を探していたようである。商売上、断り切れないであろう私に振ってきたのだ。あれから20年。「実は小説より奇なり」のことわざ通り「困ったこと」があると必ずその度に「助けてくれる人」が現れて解決し、走馬灯の様に過ぎていった印象がある。さすがは神様と共に歩んでいるYMCAだと感じる。助けていただいた方々に感謝しつつ、私も本来の仏教徒に戻ろうと思う。



塩澤総主事 上野前理事長 鈴木理事長

サマープログラム、ありがとうございました!

8月2日から栃木県版まん延防止等重点措置が発出され、とちぎYMCAでは、参加するお子様・ユースボランティアリーダー・職員及び全ての関係者の感染リスクを鑑み、また社会の一員として逼迫している医療体制及び関係者への協力の意を表すため、予定していたプログラムを代替プログラムへ変更いたしました。続いて緊急事態宣言が発出されたことを受けて、代替プログラムを含む全てのプログラムを中止とさせていただきます。

この夏、催行することができたプログラムは少なかったですが、一つひとつのプログラムの中にはたくさんのチャレンジや出会いがありました。コロナウイルスの影響でニュー・ノーマルな暮らし、Webをつかったリモートコミュニケーションなど、新しい時代がはじまっていますが、子どもたちとリーダーは「人と人のリアルなつながり」を生みだし、リアルだからこそつくりあげられるたくさんの思い出や笑顔を互いに与え、互いを高め合っていました。

今シーズン、サマープログラムにお申込みいただき、ご理解とご協力くださいました参加者の皆様、ご家族の皆様には心よりお礼申し上げます。とちぎYMCAではサマープログラムの他に、冬・春のシーズンプログラムも準備しております。通常のプログラムやウィンタープログラムでも皆様とお会いできることをリーダー・スタッフ一同楽しみにしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



水難事故ゼロを目指して

Water Safety

1917年、東京YMCAが日本で初めての室内プールを建設しました。これを機にアクアティック指導者養成講習会や初心者指導法、救助法などが行われ、その時代的背景の中で高く評価されています。そして、現在も『YMCAの水泳は安全から』を合言葉に、全国のYMCAでアクアティックプログラムを展開しています。生命とはすべてに優先するかけがえのない大切な贈物。YMCAのアクアティックプログラムは、このかけがえのない生命を守り育むことを目的に実施しています。とちぎYMCAでは、水難事故ゼロを目指して、以下の取り組みを行っております。

さくらんぼ幼稚園では水難事故が多発する夏の季節を目前に、子どもたちを水の事故から守る水上安全教育の一環として着衣泳体験（服を着たまま水に入る）を年長児に実施しています。水着で水泳をしているときとは違い、体を動かしにくいことの体験を通して水の事故から自分の命、そしてみんなの命を守るための知識と技術を肌で感じてもらいました。

野外プログラムでは、遊びを通じて自然の豊かさ、自然遊びの楽しさを感じながらも、川での危険な場所を知り、水の特性を学びます。自分の命そしてみんなの命をともに守る体験が、子どもたちの今後の人生の習慣となっていくことを願います。



ユース世代が輝ききっかけを。

全国ユースチャレンジ2020報告

全国YMCAユースチャレンジ2020で、「想い」は形にできるということ、そして人と人のつながりに距離は関係ないということを実感しました。

全国YMCAユースチャレンジ2020で、とちぎ、大阪、神戸、東京、横浜のユースボランティアリーダーと共同企画を実施しました。普段はそれぞれの地域で野外活動やウェルネスに参加している私たちですが、本企画では、より多くの子どもたちにリーダーとのかかわりや子どもたち同士のかかわりを通して、自分を知り、相手を知り、人とのかかわりの楽しさを知ってもらいたいという「想い」を込めてアクションを起こしました。

栃木県内の※1「子どもの居場所」の子どもたちのために、みんなで遊べるゲームを作成し、外で遊ぶおもちゃなどと一緒にプレゼントしました。また、とちぎYMCAのリーダーのみ、子どもたちと一緒に遊び交流を行いました。手作りのゲームは、サイコロを転がしてゴールまでコマを進める間に獲得したポイントの数を競うゲームです。ポイントを得るためには、一緒に遊んでいる友だちのステキなところを伝えたり、友だちの好きな色を当てたり、人とのかかわりが大切になっています。恥ずかしながらも友だちに対して「絵が上手なところ」「やさしいところ」とステキなところを伝え、言っている子も言われている子も、その日一番の笑顔を見せてくれました。

企画メンバーである私たちリーダーは全員オンラインで出会うことができました。一度も実際には会ったことのないメンバーで、一度も会ったことのない子どもたちに向けた

プレゼントを作るという状況でのスタートでしたが、ミーティングを重ねつながり、私たちの「想い」は形にすることができました。

一度も会ったことのない人とオンラインで出会うことができる今、住んでいる場所は関係ありません。どんなに離れていてもつながることができるということがこの企画を実施する上で何よりも大きな自信になりました。これからもYMCAを通してより多くの人とつながり、より多くの子どもたちとかわり、より多くの笑顔を見れることを心から願っています。



古谷真菜 (まなびんリーダー)



※1「子どもの居場所」(宇都宮市補助事業/宇都宮市更支援児童健全育成事業)は、2018年からスタートし、在宅にあって十分な養育が受けられない子ども、また、子育てに困難さを感じている親を支援する事業です。

未就園児おやこ英語クラス「1st step」 10月より後期がスタートします！

宇都宮東 YMCA では、未就園児親子を対象とした英語クラス「1st step」を開講中です。クラス名「1st step」には、これからYMCAで英語を始める皆さまにとって、こちらのクラスが素敵な「はじめの一步」となりますようにとの願いを込めています。初めての方にもご安心頂けるよう、YMCAイングリッシュ講師と日本人アシスタントの2名体制で行います。

英語の歌やクラフト、絵本の読み聞かせ、また、Jolly Phonics の教材を使ってアルファベットの音と文字についても学びます。全て英語で活動しますので、親子で英語に親しみ、おうちでも英語を使うよききっかけになるかと思えます♪

4月から9月迄が前期、10月から翌年3月までが後期の半年コースで、継続してお通い頂くことで英語力を身に付けることを目標としています。後期からの新入生を募集中ですので、ご興味のある方は、9月の体験日にぜひご参加ください♪

無料体験日：9月1日、8日、15日のいずれか1日（午前 10:30-11:20）

場所：宇都宮東 YMCA(宇都宮市峰 4-21-14/TEL028-661-7451)

要予約：QRコードより専用フォームにてお申し込みください。



月刊# (ハッシュタグ)



第5回 「ポジティブ・ウェルビーイングな呪文」 とちぎYMCA総主事 塩澤 達俊

#ものともせず#ポジティブ・ウェルビーイング#へいきのへいざ#スズキコージ

ときどき「たつとしせんせい」として「さくらんぼ幼稚園（子ども礼拝）」や「ようとう保育園（こころの話）」で聖書や神さまのお話し（感話！? なんだそうです ^^;）を園児たちにしていきます。

夏ということでオバケがいい!と思い、大好きな絵本作家スズキコージさんの『おばけドライブ』を思い出して選びました。カッコイイ霊きゅう車型のスポーツカーに乗ったヘイザくんとカー子さんがジェットコースターみたいにぐるぐる進む絵本です。妖怪や鬼や河童や店のおばあさんなどがつきつき現れますが、くりかえされるセリフ「ものともせず」でストーリーはどんどんすすみます。



ページをめくって、なんどもなんども「ものともせず」と叫んでいると、だんだん心がノリノリになってきます。ピンチをきりぬけたり、グングンまへへすすんだり、ポジティブ・ウェルビーイングなかんじの呪文「モノトモセズー!」がとてもいい!と思い、「たつとしせんせい流アクティブ読み聞かせ」にアレンジ足でタイコをたたいて、手でシンバルを鳴らして、指にマラカスをシャカ

シャカさせて、「モノトモセズー」を子どもたちといっしょに叫びました。

まえに読んだときには気が付かなかったのです（なんでだろう? と不思議です）が、主人公の「ヘイザ」くんは「平気の平左（へいきのへいざ）」の「平左衛門」さんだったのですね!さすがスズキコージ。

「もったいない」を「ありがとう」に! 食品寄付「フードドライブ」ご協力をお願い

生活困窮者への支援、また世界の食糧問題を考える機会に、ご家庭で余剰となっている食品を「もう一人のご家族と分かち合う」という考えで、ご寄付をよろしくお願ひします。特にコロナ禍により、食料を必要としている人が増えバンクは常に不足の状態です。宇都宮で活動している「フードバンク宇都宮」にとちぎYMCAも協力できる支援活動として皆様をお願いをしています。

【食品の支援先】 児童養護施設、母子支援団体、女性シェルター、福祉施設など

【募集期間】 2021年9月1日（水）～10月1日（金）

【集荷場所】 宇都宮YMCA・さくらんぼ幼稚園
宇都宮東YMCA

★ 寄付してほしい食品 ★

1. 未開封のもの
2. 賞味期限がなるべく1か月以上あるもの
3. 冷蔵や冷凍でないもの



例) ギフト食品（お中元など）、レトルト食品、缶詰、おかずになるもの、乾麺類、のりやお餅、お米等。酒類は除く。

information とちぎYMCAの予定

9月の予定

9月1日 さくらんぼ幼稚園 2022年度入園願書配布
9月8日 さくらんぼ幼稚園 2022年度入園願書受付
9月12日 Yキッズ9月活動（検討中）
9月18日～19日 とちぎY野外クラブ9月活動（中止）

10月の予定

10月2日 さくらんぼ幼稚園運動会
10月17日 全国YMCAリーダー研修会①: とちぎYMCA主管（オンライン）
10月23日 とちぎY野外クラブ10月活動
10月23日 わくわくトライキッズ
10月24日 Yキッズ10月活動
10月31日 全国YMCAリーダー研修会②: とちぎYMCA主管（オンライン）

11月の予定

11月28日 全国YMCAリーダー研修会③: とちぎYMCA主管（オンライン）



とちぎYMCAの日常をご覧ください。

instagramもはじめました!
tochigi_ymca

